



あいさつする安部館長（左から2人目）と園児ら

## 雪だるまのプレゼント

中の沢保育所園児がアクアマリンふくしまに

中の沢保育所園児5人は4月15日、いわき市のアクアマリンふくしまを訪れ、トド4頭に雪だるまのプレゼントを行いました。アクアマリンふくしまの安部義孝館長、土屋重憲教育長のあいさつの後、園児たちが安部館長にミニ雪だるまをプレゼントしました。飼育員がトドに雪玉を与えると、トドたちは大きな口を開けてナイスキャッチ。園児たちは「とっても大きい」「かわいいね」と笑顔でトドを見つめていました。

## 霜の被害から農作物を守る

町農林課内に防霜対策本部を設置

農作物を霜の被害から守るため、関係機関と連携し対策技術の指導や関連情報の提供などをする町防霜対策本部は4月18日、町役場農林課に設置されました。役場正面玄関で行われた看板の掲額式では、前後公町長が「適切な指導により、被害を未然に防止できるようご協力をお願いします」とあいさつ。鈴木清信J A会津よつばあいづ東部営農経済センター長と共に看板を掲げました。対策本部の設置期間は5月末までの約1月半です。



看板を設置する前後町長と鈴木センター長（右）

## 納税への長年の協力に感謝

退任納税貯蓄組合長に感謝状贈呈

町納税貯蓄組合永年在職（退職）者に対する表彰式は4月14日、町役場で行われました。表彰は、町納税貯蓄組合長大会の席上で行われ、長年にわたり組合長を務めた皆さんに、大川原久夫副町長から感謝状とお礼の言葉が贈られました。感謝状を受けた皆さんは次のとおりです。（敬称略。かっこ内は行政区）

佐藤正一郎（壺下）、水上亮一（金曲）、南波米男（幸野）、渡部渉（水沢）、阿部徹（伯父ヶ倉）



大川原副町長から感謝状を受ける佐藤さん（左）

## 桜まつり前に公園をきれいに

除夜の鐘つき実行委員会が清掃活動

本町5区青年部の有志でつくる「除夜の鐘つき実行委員会」は4月10日、亀ヶ城公園の清掃活動を実施しました。除夜の鐘つきの際に出た炭の燃えかすなどのごみを拾おうと、雪解けを待って実施したものです。当日は、同会のメンバー14人が参加。渡部大介実行委員長は「5月には桜まつりが開かれるので、訪れた皆さんにきれいな公園で気持ち良く過ごしてもらいたい」とメンバーたちと共に熱心にごみを拾い集めていました。



亀ヶ城公園の清掃活動を行う実行委員会のメンバー



ヤエザクラを植樹する内堀知事（中央）、前後町長（右から2人目）、児童代表ら

## 桜を通じた国際交流

小学6年生児童が国際審査受賞者との交流

町内の小学6年生児童約120名は4月22日、びわ沢原森林公園で漫画の国際審査の受賞者との国際交流会に参加しました。「ふくしまサクラモリプロジェクト」を展開する福志会（本部・東京）がコアミックス（本社・東京）と共同で開催。参加者は、漫画に好きな言葉を書いた桜の形のシールを貼り、一つの作品に仕上げました。また、内堀雅雄県知事や前後公町長、各校の児童代表らがヤエザクラの記念植樹を行いました。

## スポーツ交流を活性化

楽天球団とパートナー協定を締結

町は4月11日、楽天球団とスポーツ交流活動等に関するパートナー協定を締結しました。締結式は同日、町役場で行われ、前後公町長と森井誠之執行役員が協定書に調印しました。式では、前後町長が「連携事業が充実することは、子どもたちの励みになる」とあいさつ。森井執行役員は「楽天は東北の球団であり、応援歌には磐梯山が入っている。町民と球団とがお互いに支援と交流を深めたい」と述べました。



協定を締結した前後町長と森井執行役員（右）

## 観光シーズンに向け清掃活動

町民とゼビオグループ社員が清掃活動

壺下地区ふるさとを守る会とゼビオグループは3月31日、同地区周辺の清掃活動を行いました。本格的な観光シーズンを前に町内の環境美化を図るため実施したもので、参加者約200人が早朝から汗を流しました。

4月9日には、猪苗代地区の住民と同グループの新入社員など約100人が中央通商店街や町役場周辺などの清掃活動を行いました。



ゴミ拾いに汗を流す佐藤美晴会長（左）と会員ら

## 地域を守る消防団員に辞令

町消防団辞令交付式

町消防団の辞令交付式は4月3日、町役場で行われ、169人の団員に辞令が交付されました。五十嵐正義団長は「地域密着を念頭に置き、町民の生命と財産を守るため、有事に備えて日々鍛錬してほしい」とあいさつし、各分団の代表者に辞令を手渡しました。新入団員43人を代表し、小檜山祐樹さん（第5分団）が「良心に従って消防の義務を遂行します」と宣誓、五十嵐団長から消防団の法被を受け取りました。



五十嵐団長から辞令を受け取る古川智康さん（右）